

マリンビジョン女性交流会議 かわら版

第11号 2018年2月発行



マリンビジョン21
MARINE VISION 21



マリンビジョン女性交流会議かわら版では、交流会議の活動内容、地域での活動内容、新しい情報などをお伝えします。皆さんで知恵を出し合って、活動の輪を広げていきましょう！

平成 29 年度 女性交流会議が開催されました！

開催概要

- 日時：平成 29 年 11 月 29 日(水)
14:00～16:30
- 場所：TKP 札幌駅カンファレンスセンター
カンファレンスルーム 2A

片石委員長をはじめ、各地域から女性委員等の 12 名と、各地域のオブザーバー 6 名が出席しました。

会議では、主催者から会議趣旨の説明の後、各委員による「女性が主体となった主な地域活動」の報告、さらに、漁村地域における女性活躍の方策及び今後の活動方針についての意見交換が行われました。主な意見は、以下に一部抜粋してご紹介します。

主催者から一言

◆ 圓山農業水産部長より ◆

- ・女性交流会議が発足して 10 年目の節目。
- ・「女性活躍推進法」が施行され、これまで以上に女性の活躍が期待されている。
- ・北海道開発局では「北海道総合開発計画」の中で漁業や農業地域を生産空間と位置付け、これを維持発展していくための様々な施策を展開。
- ・地域の特色や女性ならではの視点から意見を頂き、新たな発展に繋がる取組を探りたい。

◆ 田中委員より ◆

- ・それぞれの地域の特色、どんなことに今、力を入れているのかお聞きしたい。
- ・各地域が横の繋がりを持つことで、他地域の取組を参考にしたり、課題を共有して解決の糸口が見つかるような意見交換ができれば、女性交流会議の今後の活動の方向性にも結び付くことを期待している。

委員名簿

	氏名	所属・役職	出欠
委員長	片石 温美	中央大学 研究開発機構 准教授（客員）	出
委員	白幡 奈美	遠別漁業協同組合 女性部長	欠
委員	米森 みゆき	北るもい漁業協同組合苫前支所 女性部長	出
委員	逢坂 節子	積丹観光協会 事務局長	欠
委員	新山 則子	福島吉岡漁業協同組合 吉岡地区 女性部長	出
委員	北川 洋子	室蘭漁業協同組合 女性部長	出
委員	大友 勇子	いぶり中央漁業協同組合虎杖浜地区 女性部長	出
委員	高野 恵里子	ひだか漁業協同組合 女性部長	出
委員	竹島 照子	大津漁業協同組合 女性部長	欠
委員	堀 陽子	厚岸漁業協同組合 女性部長	欠
委員	石垣 美紀子	落石漁業協同組合 女性部長	出
委員	櫻田 厚子	歯舞漁業協同組合 女性部長	出
委員	石田 ひろみ	羅臼漁業協同組合 女性部長	欠
委員	佐々木 美穂	知床羅臼町観光協会 事務局長	欠
委員	畠山 美佐	ウトロ漁業協同組合 女性部長	出
委員	柴田 厚子	常呂漁業協同組合 女性部長	欠
委員	森山 晴美	雄武漁業協同組合 女性部	出
委員	山下 成治	札幌大谷大学社会学部 地域社会学科 教授	出
委員	田中 郁也	北海道開発局農業水産部 水産課長	出
主催者	圓山 満久	北海道開発局農業水産部 部長	出



女性が主体となった主な地域活動について

◆工夫している点・活動してよかった点◆

- ・イベントでは利益度外視で地元食材のPRを重視している。
- ・全員参加ではなくても、個人的に興味のある活動に5~10人で参加して活動を継続している。
- ・以前の会議で厚岸地域から教わったアクリルたわしを作成し、高校生に配布したり一般にも販売したりしている。
- ・学校の調理実習での料理体験は、生徒たちに大変好評で、食育の力を実感した。
- ・若い人には、女性部で作った販売用の料理を今晚のおかずにと渡すと喜んでくれる。イベントの手伝いなどに日当を出す方法もあるが、若い人がもっと参加したくなるような工夫が必要ではないか。
- ・イベントでの売り上げの中から、女性部を定年される方々への記念品の購入費に充てている。

◆困っている点◆

- ・女性部の人数が少なく、高齢化しており、活動が限定される。
- ・イベントでの売り上げは、天候に大きく左右される。
- ・女性部活動の会計管理や組合からの助成金について、活動継続のためにはどのような処理が適切なのかが悩ましい部分がある。

その他、意見交換で挙げた意見

◆6次産業化について◆

- ・6次産業化は、漁組や地域のネットワーク内でできれば、漁村地域の中ではプラスになるが、地域のメリットに至らなければ何らかの対応が必要ではないか。

◆マリンビジョンの推進体制について◆

- ・各地域マリンビジョン協議会の推進体制の継続性が、事務局の人事異動により確保されていない。市町村、漁協の連携にも課題がある場合がある。
- ・女性交流会議で作成した料理レシピは開発局のホームページに掲載されたが、その後のフォローアップが必要ではないか。
- ・開発局としては、地域マリンビジョンの事務局との関係を確認する。過去に出た意見を次年度以降の活動に向けてフィードバックできるものはないか改めて確認・見直し、今年度の会議で出た意見も整理してフィードバックしていく。

今後の予定（次回に向けて）

今回フォローアップが必要であると指摘された事項については、精査の上、情報を伝える予定です。なお、次回は平成30年度に開催予定ですので、関係各位においては引き続きご協力をお願いいたします。

🌀 連絡先 🌀



マリンビジョン女性交流会議事務局

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 北海道開発局農業水産部水産課
TEL: 011-709-2311 (内線5599) 漁港漁村係まで
FAX: 011-709-5026
E-mail: suisan01@mlit.go.jp

